

ご挨拶

2017 年 5 月 12 日 ヒロ前田

どうも、前田です。TOEIC 対策セミナー「GREAT VOYAGE 2017 Japan Tour」を案内させていただきます。初めてお読みになる方のために、前半でツアー自体を、後半で札幌開催を説明して、最後に乗組員を募集します。

全国ツアーやります。

ボクと濱崎さんは、TOEIC を受験する人の役に立てるように、いろんなテーマを設定し、イベントを行ってきました。2016 年には、2 日間集中セミナーを全国で 8 回行いました。

そのツアーの名称は「STARTING OVER」です。そう、「やり直し」です。そう命名したのは、TOEIC テストの出題形式が 2016 年 5 月にアップデートされたからです。2006 年の改革と比べれば小さい規模にとどまったものの、多くのことを「やり直す」ことになったので、ツアー名に反映しました。そして、2017 年。再び全国ツアーを実施します。

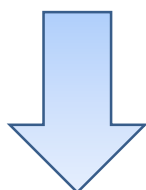


訪れる街は……

2017 年のセミナーツアーで行く街は次の通りです。3 月から 6 月にかけて、横浜、福岡、大阪、愛知、広島。そして、7 月に札幌と仙台。11 月の那覇が最後です。那覇開催だけ特別扱いするため、時間を空けます。何がどう特別なのかは未定ですが、「3 月から 7 月までに参加した人が那覇開催にも参加できるように、明らかに異質なイベントを行う」ことは確定しています。ですので、これから説明する企画概要は那覇開催には当てはまりません。

コンセプト？

2017 年のテーマは、これです。



横浜開催の様子 (2017 年 3 月 18 日～19 日)

文脈、文脈って言うけど、文脈って結局、 何なの？ どうすりゃ、その「文脈を理解する力」が伸びんの？ という至極もつともな 疑問を晴らす。そのためのハードな訓練を 提供する。

これです。このために全国ツアーをやります。ボクも濱崎さんも本を書いたりセミナーで教えたりする中で、「文脈を考えると、これはこうですね」とか「文脈をつかんでいけば、この選択肢はダメだと一瞬で分かりますね」といった言葉を何度も使います。ですが、どうもスッキリしません。

文脈って何？ そういう疑問を受講者に与えている気がしているのです。でも、1分や2分で答えることはできません。もっと時間が必要です。今回のツアーでは、ボクたちなりの「確信を持って**正解を選び続ける**ようになれるための、文脈理解力養成講座」にします。**2日間で12時間の訓練を提供します。**

「STARTING OVER」では、講師がしゃべる時間が長めでしたが、今回は「参加者が脳ミソを酷使する時間」が長めです。それを覚悟し、**真剣に勉強したい、体と心と脳みそを鍛えたい人**に参加していただきたいです。

得たいものは何？

ボクも濱崎さんも、企業研修や少人数制セミナーをやることがあり、講義の終わりに質問を受けることがあります。そして、次のような質問がよく来ます。「〇〇という方法が効果的だとXXで読んだのですが、どうお考えですか？」「〇〇先生がXXという本でYYと書いていますが、本当なのでしょうか？」 そのような質問をする動機は理解できますが、あえて言わせていただきます。

一体いつまで、勉強法を勉強し続けるのですか。成果を出したいのなら、そろそろ勉強法の勉強を止めないと“手遅れ”になりますよ。

大きい成果を出す人は、「やり方を探す時間」の1,000倍を「実践する時間」に費やす人です。本当ですよ。一方、成果をあまり出さない人は、「やり方を探す」ことに費やす時間が長いです。長時間かけて「やり方を探す」人は大した成果を出しません。学習法を研究することが大好きなら止めはしませんが、良い結果を得たいなら、とっとと行動してください。

今回のツアーでは、ボクたちはボクたちなりのベストを尽くします。あなたに会うのがこれで最後になることを心のどこかで願いながら。

この本を使う理由

教材は『TOEIC テスト新形式問題やり込みドリル』（アルク／2,052 円）です。この本を使う理由は3つあります。

1つ目は「新形式問題に完全に特化している」こと。2つ目は「文脈理解力を伸ばす良質な訓練ができる」こと。3つ目は「ハードトレーニングに適した練習問題がたくさん収録されている」ことです。また、多くの受験者を苦しめる「意図問題」を重視しているマレな本でもあります。

では、さらに詳しく説明します。

Go on to the next page.



福岡開催の様子（2017年4月15日～16日）

2日間集中 TOEIC セミナー

GREAT VOYAGE 2017

“大航海”

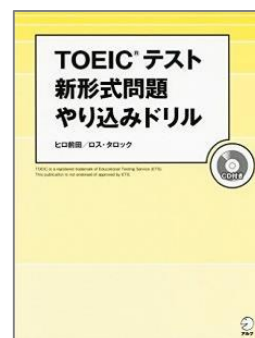
開催期間 2017年3月18日（土）～11月5日（日）

開催時刻 10:00-17:30（両日）

参加費用 21,600円（税込／教材費を含まず）

使用教材 『TOEIC テスト新形式問題やり込みドリル』（アルク）

＊仙台開催までこの本を使います。



PORT 1 横浜 2017年3月18日～19日（ビジョンセンター横浜）

PORT 2 福岡 2017年4月15日～16日（リファレンス大博多ビル）

PORT 3 大阪 2017年4月29日～4月30日（天満研修センター）

PORT 4 愛知 2017年5月27日～28日（オフィスパーク名駅・プレミア会議室）

PORT 5 広島 2017年6月10日・11日（広島オフィスセンター）

PORT 6 札幌 2017年7月1日～2日（札幌駅前ビジネススペース）

PORT 7 仙台 2017年7月15日～16日（仙都会館）

PORT 8 那覇 2017年11月3日～5日（おそらくこの3日間です。確定ではありません）

GREAT VOYAGE 2017

横浜・福岡・大阪・愛知・広島・札幌・仙台・那覇

Japan Tour

2日間集中TOEICセミナー

PORT 6

札幌開催

会場：札幌駅前ビジネススペース（札幌駅徒歩 5 分）札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 1-23

日時：2017 年 7 月 1 日（土）～7 月 2 日（日） 10:00～17:30

＊計 12 時間／単日参加不可

定員：16 名（状況により増席されます）

講師：濱崎潤之輔／ヒロ前田

料金：21,600 円（税込）

教材：『TOEIC テスト新形式問題やり込みドリル』（アルク／2,052 円）

＊書店でご購入のうえ、会場にご持参ください

注意：指定教材の予習は必要ありません。（事前に取り組んでいても問題は起きません）

資格：TOEIC スコア 500 点以上を取得したことがある方

未受験者は、公式問題集を使って換算点を計算してください、一定の条件を満たす場合に、ご参加いただけます。下にある問い合わせフォームから換算スコアをお知らせください。

内容：基本的に「演習」と「解説」、「訓練」が中心です。2 日間で、Part 3 と Part 4、Part 6 と Part 7 を扱い、特に「文脈理解が求められるパートや設問」に多くの時間を割きます。先日、「このセミナーには、900 点レベルの人が集まる」という噂を聞きましたが、それは間違いです。横浜開催では申告スコアが 900 点を超えた人は 1 人か 2 人しかおらず、700 点台が中心でした。他の会場でも似ています。ハイスコアの方が参加するのは問題ありません。ボクたちが考えている**大事な訓練**を全力で提供します。

会場は札幌駅のすぐ近く

昨年の札幌開催の様子

参加者の声

セミナーに参加して得た「気づき」や、印象的だったことなど

今の課題は、「いかに英文を速く読むか」だが、英文を読む時間が少なすぎることを改めて知り、これからのスケジュールの見直しが必要だと実感しました。トリプルパッセージの取り組み方が分からなかったのですが、濱崎先生の説明を受けて、自分のルールを決めて、ぜひ実践してきたいと思いました。いかに無駄な時間をかけていたか気づけました。(福原朋子様)

読解力を上げていくためには、英文を自分の言葉で短く圧縮し、ストレスなく人に説明できるくらいまで精読できるようになる必要があることを学びました。(吉原敬様)

解法を教わる中でも、大切なことは基礎学力なのだと再認識しました。特に、自分には語彙力がまだまだ不足していると思うので勉強したいと思います。問題の正解への導き方を学んだのが初めてだったので新しい発見がいっぱいありました。今後自分で勉強すべきことが明確になったような気がしました。(斉藤健様)



TOEIC の受験経験が浅く、かつ勉強のやり方がよく分からない中でセミナーに参加しました。「TOEIC を離れて土台を作ることの必要性」「文章を読む上での着眼点」「TOEIC 受験時の心構え」をバランスよく学ぶことができてすごく良かったです。(横山敬子様)

「何となく解く→何となく答え合わせをする」をいつもしていたと痛感。(西田隆之様)

設問の意図プロセスなど考えたことがなかった。選択肢の意図が明確になりました。初めてセミナーに参加しましたがモチベーション上がりました。(長崎陽一様)

トリプルパッセージを解く時の手順。教えていただいた通りにやったら、やりやすかった。読み方の手順を変えるだけで時間短縮ができそうなので、時間を測って検証したい。(茨田美奈子様)

もし、このセミナーを知り合いに推薦するとすれば、どのように紹介しますか

TOEIC の解法が分からないのか英語力が分からないかが判別できる。セミナー後に何をすれば良いのかが明確になる。(箕輪明久様)

2 日間時間を作れば、新形式がこわくなるよ (HI 様)

TOEIC で重要となる、戦い方のヒントが多く含まれているセミナー。すべてを利用するのではなく、自分のやり方を確立するのに参考にすること。(川上裕司様)

初心者でも十分についていけるため、ためらわなくても大丈夫である。(KR33 様)

このセミナーの内容は、おそらくその大部分が講師の著書に書かれているものである。しかし、**open information** である書籍では書きにくいことや抽象的に（イメージしにくく）書かざるを得ないような重要な情報を端的に知りたければ、セミナーに参加することはとても有益と思う。(桑山耕平様)

自分なりのヒント、気づきが沢山ある」どんなレベルの人であれ、参加して損はなし！ 正直、申し込み時は「少々痛い出費」と思いましたが、今は参加費以上に実のあるものだったと思っています。(chara 様)



対策のし方が分からなかったり、自己流の解法に自信がない方は是非受講して頂きたいです。勉強法についても適切なアドバイスを頂けて、とても参考になります。(佐藤純子様)

これから TOEIC テストを受験しようと考えているならば、必ずこのセミナーに参加するべきです。TOEIC テストは、まだしばらく先にと考えていても、英語力（四技能一特にリーディング・リスニング）をあげたい方にも特におすすめします。なぜなら、最新の英語力向上のテクニック、又は英語に対するモチベーションの持ち方がたくさん、たくさん学べるからです。これは絶対、絶対保証致します。(實成吉隆様)

講師プロフィール

興味があればアマゾンなどでチェックしてください。

濱崎潤之輔 <http://amzn.to/2kX87jn> ヒロ前田 <http://amzn.to/2ku4fTw>

講師からのメッセージ

濱崎潤之輔



ヒロ前田



夏の札幌に、今年も昨年に引き続き行かせていただきます。僕は幼少時代～中学生くらいまで、毎年夏休みには北海道に行っていました。従兄弟の父親が公立高校の先生をしていて、転勤の度にその引越先にお邪魔させてもらっていたのです。函館、札幌、室蘭、網走に行き、霧の摩周湖や五稜郭を訪れ、網走刑務所ではニポポ人形を買いました。そんな所縁のある北海道のみなさまと、TOEIC テストを通じて交流できる……最高です。ベストを尽くします、ご期待ください！

濱崎潤之輔

実は、昨年のツアーでは、札幌でのセミナー開催中にボクは体を壊しました。Day 2 を終えるまでは倒れずに済みましたが、翌日の朝、ホテルをチェックアウトすることすらできず、寝込んでしまったのです。39 度を超える高熱に悩まされながら、なんとか東京に戻り、1 週間ほど苦しみました。そんな思いのある札幌開催ですから、今年はリベンジします。夏の北海道。すごく楽しみです。もちろん、札幌に限らず、旭川や釧路、帯広、苫小牧、函館などからもご参加お待ちしております。ボクたちは東京から行きます。

ヒロ前田

Go on to the next page.

GREAT VOYAGE 2017 Japan Tour に参加したい方は、下のフォームからお申し込みください。

申し込み方法

1. 満席になったら自動で締め切られます。空席がある場合でも、開催が迫ってきたら予告なく受付が終了となる場合があります。
2. 申込完了後に自動で送られる返信メールをよくお読みになってください。受講料のお支払いをもって正式に席を確保いたします。
3. 自動返信メールが受理されないケースが増えています。(携帯電話やスマホ用メールアドレスが登録されると自動返信メールを受理できない可能性が高いです) 申込完了後 15 分以内に届かなければ、下にある「問い合わせフォーム」からご連絡ください。

申込用フォームはこちらです↓

札幌開催 → 申込フォーム

リンクが機能しない場合 → <https://ws.formzu.net/dist/S81631724/>

疑問・質問がある場合は、「[問い合わせフォーム](#)」を使ってください。

(セミナーに関する [FAQ コーナー](#) もご参照ください)



札幌にて (2016 年 7 月)